

努力賞

ぼくのけっしん

荒川区立瑞光小学校一年

重見 侑希

やなぎだくにおせんせい、はじめまして。

ぼくはちいさいときから、ねるまえ、おとうさんにえほんをよんでもらうのがだいすきです。ベッドでよこになりながら、わからないことばをおしえてもらったり、どんなきもちになったかをふたりでおはなします。いまはじぶんでえほんをよめるけど、やっぱりおとうさんによんでもらうのもだいすきです。

なつやすみにおとうさんが「たろうとつばき」というえほんをかりてきてくれました。このおはなしはとしまにすむたろうがけっしんをして、お

かあさんがいるとうきょうのびょういんへひとりでおみまいにいくおはなしです。

たろうはふなよいをしてもころんでも、みちにまよっても、びょういんにはいれないといわれてもなきませんでした。ぼくもたろうみたいにひとりでたびをしてみたいです。たろうみたいにならないようになりたいです。

おとうさんはなんでこのえほんをかりてくれたのかなとおもいました。ぼくにたろうみたいになってほしいのかな。

ぼくは知らないひとにあいさつをしたり、はなしかけたりするのがにがてです。はずかしくてこえがちいさくなってしまう。でもたろうはすぐくがんばっていました。ぼくもたろうみたいにゆうきをだしてみようとおもいます。そしていつ

かひとりでおじいちゃんとおばあちゃんがすんで
いるきゅうしゅうまでいきたいです。

おとうさん、おかあさん、ぼくもたろうみたい
につよくてがんばるようになります。やなぎだせん
せい、おうえんしてください。